

女子 V 西那覇 男子 南興

ハンドボール

（沖縄市体育館）

男子

▽決勝

興南 28 1414 1014 24 コザ

女子

那覇西 28 1414 811 19 浦添

王者の意地で突破 興南

王者の興南が苦しみながらも9連覇を果たした。新人戦に続き、ライバルのコザとぶつかった決勝。興南が試合巧者ぶりを見せ、接戦を制した。序盤は興南が先行。しかしコザが少しずつ点差を詰めた。速攻を意識した積極的な守りを狙い、高めの位置からディフェンスを敷いた興

9連覇

南。コザがその隙を突いて回り込み、シュートを放つ場面が目立った。興南は高めのディフェンスが機能して、これを下げ、ゴール前を固める陣形に変更した。前半は14-14の同点で折り返した。「ここが勝負どころだ」。選手たちを鼓舞する黒島宣昭監督の言葉に、チームも反応した。

後半はこれを修正、比嘉を中心にボールを回し、左右から黒島誠、屋比久浩之らが得点を重ねた。主将の黒島は、前半の攻撃が単純になったことを挙げ、「プレッシャーにやられ、自分たちのプレーができていなかった」と反省。全国制覇を目指して修正を誓った。（宮里努）



男子決勝 興南―コザ ディフェンスの上からシュートする興南の比嘉栄透（花城大撮影）

西那覇 9得点 強気 末吉 エース



○2年ぶりの優勝を果たした女子の那覇西。エース末吉有里沙はチーム最多9得点の活躍で引った。一点を取るのが自分の役目。弱気にならないで点を取りにいったと話し、勝利を喜んだ。末吉は、ボール回しでも中心となった。自らシュートを打つ一方、ポジションを移動しながら、相手の動きを見てチームに指示。169センチと高さのある中地杏利は、末吉に次ぐ6得点を挙げた。

女子決勝 那覇西―浦添 ディフェンスをかわしてシュートする那覇西の末吉有里沙（宮里努撮影）